

# NEWS

## 教室関係

### 学部

#### § 4 3年度の地理学科開講科目

- 地理学概論 4 渡辺 地理学本質論と発達史
- 日本地誌 I 3 渡辺 日本の概観と日本各地方の地誌的考察
- 経済地理学 3 松井 日本と世界の農業経済地理
- 外国地誌 III 3.4 松井 ソビエト連邦の地誌
- 日本地誌 II 3前 松井 日本の農業地域
- 植物地理学 3.4前 松井 自然地域の構成要素としての植生
- 地理学特講 3前 松井 那須野盆地の地誌
- 気候学 I 1 浅井 気候の理論及び気候誌。テキスト 福井英一郎著気候学概論
- 陸水海洋学 3後 浅井 陸水誌、海洋誌と其の人間生活との関連
- 外国地誌 I 2 浅井 ヨーロッパの地誌
- 自然地理学実験 3前 浅井 気候、陸水に関する観測、実習等
- 地質学 I 2 浅海 岩石、鉱物、構造地質、地史の概論。
- 土壌学 3前 浅海 土壌の生成、分類、分布に関する地理学的考察
- 自然地理学実験 3後 浅海 地形、土壌の調査法、土壌の分析実験
- 地理学演習 II 独書講読 3 浅海 基礎的の古典文献、最近の論文の輪読と解説
- 地形学 2 式 の地形、輪廻、発達史、分類など
- 地図学演習 2 式 地形図の作成、計測、判読、説明と実習など
- 写真地理学 3後 式 空中写真、写真測量の知識と判読など
- 集落地理学 3前 正井 集落の発生、形態、機能など
- 地理学演習 I 英書講読 2 正井 P・E・James: A Geography of Man  
の講読
- 地理調査法 3後 正井 野外、文献調査の基本的技術、知識の養成
- 都市地理学 3後 正井 日本、世界の諸都市の地域的差異
- 地理学演習 III 3.4 全員 外国の論文の紹介、卒業論文の報告
- 歴史地理学 3.4前 別技 歴史地理学の意義と世界各地の歴史地理学的諸問題
- 地理学 特講 3前 幸田 工業立地論と工業の地域構造

交通地理学 3後 有末 交通地理学の概念と交通問題の展望と対策，有末武夫著：交通地理学

気候学Ⅱ 3前 福井 日本の気候と地域の特徴

地図学 1前 岡崎 地図発達史と読図，投影法と作図

§ 一般教育・教職課程

地理学 1前 渡辺 世界主要文化地域の概観

地学（地質鉱物）1前 式 重力，地震，火山，岩石，地層など地学的現象の概観

教科教育法（地理）3前 大和田 中・高校社会科指導要領の解説，地図，社会科指導の諸問題。テキスト武揚堂：地形図の手引。

§ 地理学巡校予定

担当教官	時期	場所	学年
渡辺先生・正井先生	10月	関西	2年生
松井 "	9月	那須野	3年生（完了）
浅井 "	7月	志賀高原	1年生（完了）
浅海 "	9月	関東北部	2年生（完了）
"	3月（1969）	未定	2年生
式 "	3月（1969）	未定	3年生

なおこの他一日巡検5回，都内巡検10回が計画されている。

§ 卒業論文予定

本年度の卒論作成は下記の通り。

氏名	地域	主なテーマ	指導教官
石川良美	日立市	日立市の発達過程と都市化	正井
伊東洋子	知多半島	知多半島の地理学的考察	式
遠藤規子	千葉県安房郡富山町 富浦町	農業および農家・漁家の兼業としての観光業	浅海
越智敬子	熱海市	観光都市の地理学的考察—交通との関係	正井
坂巻郁子	所沢市，三芳村	武蔵野台地北東部の地理学的考察 （三富新田を中心として）	浅井
高木道子	長野県北安曇郡白馬村	白馬村地域の地理学的研究	浅海
寺沢綺佐子	八ヶ岳南麓	高冷地農業を主とした地理学的考察	浅井
西川美恵子	小渚市，佐久市	佐久平北西部の地形学的研究	式
野崎美佐子	伊豆大島	伊豆大島の産業	正井

氏名	地域	主なテーマ	指導教官
松延三津子	南筑平野	土地利用の変遷	松井
森山芙美子	鹿児島県薩摩郡入来町	麓集落たる入来郷の歴史地理学的考察	渡辺
山口とも子	古河市	古河市の商業・農業・交通について	松井
吉見則子	山口県大島郡大島	みかん栽培を中心とした屋代島の地理学的研究	式

## 大学院

3月に馬場さん、林原さんに最初の修士の称号が授与された。本年度の入学生は、松本園子さん（本学出身）のほか、台湾省立成功大学建築学科出身の何芳子さん、静岡大学教育学部出身の小林寧さんの計3名である。なお昨年度入学の市川（江橋）さん、宣寿山さんはそれぞれ休学中、渡米中の市川さんは今秋帰国の予定である。本年度開講科目は下記の通りである。

地誌学演習 渡辺 地誌研究及び地誌調査

地域特論 松井 地域概念について

微細地誌特論 松井 微細地誌の方法論について

気候学特論 浅井 小気候の理論と実験

自然地理学演習 浅海 地形・土壌の野外観察と室内作業の実地

地誌特論 式 自然地理学的・地形誌的地域区分について

人文地理学演習 正井 比較都市地理学

経済地理学特論 幸田 工業の立地と地域構造

文化地理学特論 別技 文化地理学の諸問題

地形学特論 岡山 地形学の古典的論文の講読と解説

気候誌特論 福井

人文地理学特別研究 松井

自然地理学特別研究 浅井

地誌学特別研究 渡辺

野外調査 浅海、式、正井

修士42年入学 指導担当講座 研究テーマ

二瓶（橋本）直子 自然地理学 所謂風土病に関する疾病地理学的研究

市川（江橋）晴子 地誌学 植物の分布に関する地理学的研究

修士42年入学	指導担当講座	研究テーマ
宣 寿 山	地誌学	人文地誌の研究
修士43年入学		
松 本 園 子	人文地理学	ハウスタイプにみられる都市化
小 林 寧	地誌学	日本地誌の研究
何 芳 子	人文地理学	工業立地論—工業地域の再開発

## § 教官の学内役職

渡辺先生 地理学科主任，4年生補導委員，紀要編集委員  
 松井先生 3年生補導委員，図書館運営委員，図書選定委員  
 浅井先生 1年生補導委員，学生委員  
 浅海先生 1年生補導委員，建物委員  
 式 先生 4年生補導委員，臨海学習施設準備委員，一般教育委員  
 正井先生 2年生補導委員

教務補佐員の増員。従来は従来の副手に担当する役職であって、今年度から各講座毎にそれぞれつ  
 くことになった。配置は以下の通りである。

和田とく子（女高師昭24卒）自然地理学および図書整理  
 小林 慈信（法政大学修士1年）自然地理学  
 山崎 民子（本学昭42卒）人文地理学  
 馬場由美子（本学修士昭43卒）地誌学および空中写真整理  
 林原 陽子（本学修士昭43卒）地誌学

## ● 学会関係

4月6～9日，1968年度日本地理学会が開催された。6・7日は法政大学62年館において  
 地形・陸水・気候49，土地利用・都市・農業・経済・地図等40の研究発表が行われ，岩下茂子  
 氏（第12回生）が「縦断面形からみた扇状地の地下水と地形との関係」を発表した。続く8・9  
 日のエクスカージョンは，相模野・大磯丘陵地域の第四紀テフラと地形発達，横浜地域における経  
 済社会の変貌と地域計画，南房総の農漁業，の3班に分けて行われた。

秋季大会は，10月5～9日，鳥取大学において開催され，「海岸砂丘—その自然と開発」と  
 「後進地域の地域開発」の2つのシンポジウム（7日）と，それらに関係した巡検（①大山・米子